

喜志小だよ

平成30年夏休み号
富田林市立
喜志小学校

メイク・ハート



平成最後の夏休み 校長 西山 正人

4月に始まった平成30年度の1学期も、終業式を迎えました。水泳指導やサマー・スクールはあるものの、長い夏休みがスタートします。来年5月には新しい年号になるとのこと。ということは、今年の休みが平成最後ということになります。(たしか運動会のプログラムにもそんな名前がありましたね) 子ども達にとって、有意義な休みとなればと思っています。

さて、6月の半ばには大阪北部地震が起こり、7月初旬には過去に経験したことのない大雨が西日本に降りました。多くの方が避難所で大変な生活をされているというニュースは子ども達も知っていました。7月10日の「平和集会」の際に、地震や大雨のような天災は人の力で防げないけれど、戦いや争いは人の力で防ぐことができるという点で、大きく違うんだよという話をしました。みんながこれから中心となっていく世の中を「当たり前前」のことが「当たり前」に行える平和な世の中にしてけるように、今できることとして、喜志小学校をみんなが仲良く安心して通える学校にしていこうと伝えました。

また、6月下旬には急に3日間給食が止まるという連絡が入りました。大雨が予想されるためにPTAやすこネットの会議等を当日の朝に中止・延期と決めたこともありましたが、これらのように緊急に保護者の方に伝えなければならないことが生じたときに、どうすればより確実に伝えることができるのか、という課題をクリアしていかなければならないと痛感しました。喜志小学校では「保護者の方への引き渡し訓練」を行ったことがありません。併せて検討していきたいと思っています。

子ども達が持ち帰ります「のびゆくこども(通知表)」には、子ども達の頑張りや課題があらわされています。すべてを表記できていませんが、頑張りが見られた所をしっかりと褒めてあげてください。また、課題については夏休みを活用していただくと助かります。

始業式のある9月3日を、喜志小学校の子どもも職員もみんなが揃って迎えることができるのを何より願っています。そして迎える2学期を実り多いものとするよう、私たち教職員は、夏休みを活用して準備します。ご家庭の方でも準備していただければと思います。

最後になりましたが、保護者の皆様方のご協力をいただき1学期を終えることができました。本当にありがとうございました。2学期もよろしくお祈りします。

